

資料 4




令和5年度第3回市民活動推進委員会 ワークショップ模造紙まとめ Aグループ

①	市民活動、期待
	<ul style="list-style-type: none"> やりがい 楽しみ 楽しい活動 他者を笑顔にする活動 市民が多くの人にとって利益をもたらす活動 市の施設を使用 期待をしていない よりよくなるための活動 目指すこと・ものがある活動
②	意義、方策
	<ul style="list-style-type: none"> 地元愛をはぐくむ 地域のつながり 地域のための活動 他の人のためにする活動 社会と何らかのかかわりがある 人とのつながりが広がる活動 趣味を都合よく市民活動につなげる 地域における居場所 場所の提供などのサポート 同じ目的で集まって活動する 次世代への担い手確保
③	協働
	<ul style="list-style-type: none"> 運営者にペイしたほうが良いか 自分たちの活動を発信する+共有 和気あいあいor専門家 どちらがやりやすい? 持続できる 運営者と参加者の境がはっきりとしていたほうが良いか?



①	市民活動、期待
	<ul style="list-style-type: none"> 自分のため+他者のため 窓口をはっきりさせる 「市民活動」の意識を育てる 活動が育つ人・場所 決まった居場所×どこでもよいが場所を 市民活動と個人・少人数、趣味・好きをつなげるには
②	意義、方策
	<ul style="list-style-type: none"> SNSとも似ている（市民活動が） 専門的な情報・講師・資材のサポートが欲しい
③	協働
	<ul style="list-style-type: none"> 活動が軌道にのった後の展開 団体が手を上げる環境づくり 人・金・場所・物のメニュー 専門的な情報・講師・資材のサポートが欲しい 広い×あいまいVS狭い×はっきり 2つのチャンネル

令和5年度第3回市民活動推進委員会 ワークショップ模造紙まとめ Bグループ

<p>①入口は広く！自由に！</p> <p>課題解決のためだけでなくコミュニティ参加 市の活動の定義が難解⇒趣味から発展も 喜び⇒たのしみ 地域社会における課題とは 市民が日常生活の中で活発に活動することが大切 参加できる機会を増やす 自発的な活動 公益的な活動 対象が幅広い（限定的でない） 企業も市民である 期待 広報ができる 広報⇒慣れない人のサポート、活動の紹介 ⇒メール・SNSのサポート クラウドファンディングでふるさと納税を返礼品にする仕組みを取り込みやすくしてほしい ⇒県のサポートはある 学校と関わりやすくしてもらえるとありがたい（ワークショップなど）</p>		<p>①</p> <p>市民がにこにこ集まる情景をつくる 広報の柔軟化！ 世代対応メディア</p>
<p>②活動の成長を促す！ 長い目で見る継続をサポート</p> <p>市が市民に求めること 市民が市に求めること⇒ずれている 市民活動を通して市民の大きな交流が生まれる⇒活動できる環境をつくる 誰でも市民活動に参加していると思われるように ボランティアと市民活動 市民が公共・公益の福祉便益の増進を目的として行う活動⇒つながれば趣味でも良い</p>		<p>②</p> <p>市と市民で違うのでは？ 市のニーズと市民のニーズ違う</p>
<p>③市：上から目線 市民：楽しみ充実感を上げたい⇒そうすると自然に広がる 市はそれをサポートしてほしい BOTTOM UP！</p> <p>自主的⇒必ずしも市民が主体者（全体の）でなくてもよいのかも？例えば赤十字の活動 ただし、非営利＝ボランティアとは限らない。経費、適正水準の報酬があつてよい ⇒企業のCSR、ESG投資</p>		<p>③</p> <p>あまりに保守化しない 行政も前向きなリスクをとる！ 交流機会を増やす 個人からグループに広げるのに金・時間がかかる そのサポート（窓口）があると良い フォーマルなものだけでなく、気軽な懇親会があると良い（会費制で良いので） 若い世代のリーダーがいて良い</p>

令和5年度第3回市民活動推進委員会 ワークショップ模造紙まとめ Cグループ

①市民活動とは	
<ul style="list-style-type: none"> 参加しやすい 多く参加 より多くの参加を 多世代交流 市民が主役となっている活動 市民相互のコミュニケーション増 同じ関心を持つ者同士が主体となって活動 参加世代の幅を広げる 広い市民の参加 市の発展 行政が動く前に市民が集約して動くこと 市民同士生きづらさを互いに支え合いながら活動 安心安全満足 小さな活動がたくさん 多くの人が暮らしやすくなる 住みやすいまちづくり環境づくりと一緒に活動 市の課題に取り組む 課題解決ができる 	
②参加を広げる GOOD!!	
<ul style="list-style-type: none"> 多世代のつながり 活動の推進力、人材の層を厚くする 世代間のプラットフォームの差 地元の良さ再確認 	
③広報・場、他県に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> 相談伴走サポート 市による情報データづくり提供 ふるさと納税 わかりやすい市の情報ツール⇒チラシ、HP 広く知ってもらう 活動のマッチング ニーズと人材のグッドマッチング ⇒活動を大きなテーマでくくることで 色々な可能性 一人できないこともみんなのできる 公園とか市の枠関係ない 市民の枠を出す 地理的な越境 (Web) 	



①期待	
<ul style="list-style-type: none"> 活動参加を促進するわかりやすい広報 情報提供 テーマ 交流する場 場の提供 活動周知 リーズナブル 費用 主催者の金銭負担が少ない 市民が自ら動くwantの活動 フィールドの提供 参加者に安心とお得感 団体の継続 (年など) PRの支援 (オーソライズ) 住みやすい環境 	
②	
<ul style="list-style-type: none"> 活動団体の一元化した情報提供 市民一人一人のもつスキル・個性と活動のマッチング 市民一人一人の持つ時間・能力の表出・発掘 	
③	
<ul style="list-style-type: none"> 広報 ⇒活動内容 ⇒HP、紙 場 ⇒お互いを知る ⇒活動の場そのもの 1つの考えに偏りすぎない 	